

予 算 要 求 資 料

R 3 年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 新人看護職員研修事業費

（地域医療介護総合確保基金）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 医療福祉連携推進課 看護係 電話番号：058-272-1111（内 2553）

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,145 千円（前年度予算額：3,670 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,670	0	0	0	0	0	3,670	0	0
要求額	3,145	0	0	0	0	0	3,145	0	0
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

- ・看護の質の向上や、早期離職防止の観点から、新人看護職員の質の向上を目的とした研修を受けられる体制を整備することが必要
- ・新人看護師の採用が少ない病院など、自施設で研修が完結できない医療機関に対して、新人看護師を対象とした合同研修を開催
- ・新人看護職員研修を担当する教育担当者に対する研修を開催

（2）事業内容

・教育担当者研修事業

開催回数：各研修 5 日間、研修場所：岐阜市、受講者数：教育担当者研修 80 人程度

研修方法：講義、演習

・多施設合同研修事業（新人看護職員対象）

開催回数：10 日間、研修場所：岐阜市、他 2 圏域、受講者数：40 名程度
研修方法：講義、演習

- (3) 県負担・補助率の考え方
地域医療介護総合確保基金

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,145	新人看護職員の指導者に対する研修の企画・運営
合計	3,145	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・長期構想
 - I-2 地域医療の体制と医師・看護職員を確保する
 - ・医師・看護職員を確保する
- ・保健医療計画
 - 4-4 保健医療従事者の確保・養成
 - ・看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）

(2) 後年度の財政負担

平成30年度以降、新人看護職員研修事業を廃止。
研修責任者研修は、3年に1度開催（令和2年度実施）

(3) 事業主体及びその妥当性

新人看護職員研修は看護職員の確保に必要な施策であり、長期構想でも位置づけた県の役割であるため、主催者として研修会等を開催

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
各医療機関の新人看護職員研修の指導体制を充実させることで、県内の看護師の質の向上と新人看護職員の離職防止を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
		前年度	本年度			
教育担当者研修 修了者人数	(H)	74人 (H29)	65人 (H30)	80人 (R1)	80人 (R3)	100%
多施設合同 研修参加人数	0人 (H25)	- (H29)	24人 (H30)	26人 (R1)	40人 (R3)	100%
研修責任者研 修		28人 (H29)	- (H30)	- (R1)	40人 (R5)	

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
教育担当者及び実地指導者について、研修会を開催した。また、新人看護職員に対して、合同研修を開催した。
(1) 教育担当者研修 5日間、修了者数 80人
(2) 多施設合同研修 5日間、修了者数 26人

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
研修責任者等、新人研修に関わる方が研修を受講することで、県内病院で実施される新人看護職員研修の質の向上と新人看護職員の早期の離職防止が図られる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	新人看護職員教育事業を充実させることで、新人看護職員の離職防止や、看護師の質の向上が図られ、県内の看護の質の向上につながるため、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	新人看護研修を担当する職員への研修を実施していることから、各医療機関での指導体制の充実が図られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	看護職員の研修企画に関する豊富な知識等がある者へ委託している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>研修責任者研修は、責任者の立場にある看護管理者が、毎年異動することは少なく、異動の周期を勘案し、3年に1度の開催に変更。</p> <p>多施設合同研修については、実績を踏まえ、研修内容を見直していく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>研修責任者研修は、平成29年度の実施以降、3年に1回に変更。実地指導者を指導する教育担当者の研修を強化し、実地指導者研修を廃止。</p> <p>教育担当者研修に30機関が受講している。また、自施設で研修が完結できない医療機関に対する多施設合同研修において、13機関が受講しているため、継続すべきである。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	